



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月5日
上場取引所 東

上場会社名 タカタ株式会社
コード番号 7312 URL <http://www.takata.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 重久
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理・財務本部長 (氏名) 野村 洋一郎 TEL 03-3582-9228
四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 平成24年12月7日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	199,890	10.0	8,561	29.7	8,140	46.0	4,638	51.1
24年3月期第2四半期	181,753	△6.0	6,600	△50.2	5,574	△57.5	3,068	△69.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △7,118百万円 (-%) 24年3月期第2四半期 △12,149百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	55.78	—
24年3月期第2四半期	36.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	321,995	152,995	47.1	1,824.42
24年3月期	329,718	161,186	48.5	1,924.80

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 151,721百万円 24年3月期 160,068百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
25年3月期	—	15.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

現時点では期末配当予想額は未定であります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	398,000	4.0	17,000	24.8	16,000	18.5	10,400	△12.9	125.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	83,161,700株	24年3月期	83,161,700株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	356株	24年3月期	346株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	83,161,351株	24年3月期2Q	83,161,404株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、発表日現在入手可能な情報、仮定並びに判断に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の経営環境の変化などにより予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における世界経済は、北米経済こそ段階的な金利緩和策実施による消費需要の回復も見られ、景気の先行きに明るさが見えてきたものの、欧州経済は更に停滞感が強まってきました。また、中国等の新興国経済も減速傾向が見られるなど、欧州債務危機が更に長期化したことによる先行きに不透明感が出てきています。一方、日本経済は、東日本大震災からの復興需要により微増ながら経済成長を維持するものの、継続する円高に加え、欧州債務危機の長期化により電機、自動車など輸出関連企業中心に業績見通しに不透明感が高まりつつあります。

自動車業界におきましては、欧州市場で債務危機の長期化により自動車生産台数が大幅な減少となりましたが、北米市場では日系自動車会社を中心に増産傾向が鮮明になっています。また、中国市場では景気に減速傾向が見られましたが、引続き堅調な自動車生産高を維持しました。日本市場では円高により輸出が不振だったものの、震災からの回復やエコカー補助金延長などの影響により大幅な増産となりました。その結果、世界の自動車生産台数は前年同期比で約7%伸長しました。

このような状況下、当企業グループの業績は、欧州では債務危機による影響で減収となったものの、日本及びアジアでは前年に震災や洪水の影響を受けた日系自動車会社向け販売が回復し、前年同期比で増収となりました。また、米州でも堅調な需要に支えられ、前年同期比で増収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,998億90百万円（前年同期比10.0%増）となりました。また、営業利益は85億61百万円（前年同期比29.7%増）、経常利益は81億40百万円（前年同期比46.0%増）、四半期純利益は46億38百万円（前年同期比51.1%増）となりました。

セグメント別の業績に関しましては、以下の通りであります。

① 日本

日本におきましては、東日本大震災の影響による減産からの回復に加え、エコカー補助金制度延長による効果もあり、自動車生産は大きく伸長しました。その結果、売上高は527億46百万円と前年同期比16.7%の増収、営業利益は42億81百万円と前年同期比291.9%の増益となりました。

② 米州

米州におきましては、引き続き堅調な自動車需要を背景に、米系自動車会社に加え、東日本大震災による影響から回復した日系自動車会社が前年同期に比べ大幅に生産を伸ばしました。その結果、売上高は849億73百万円と前年同期比17.9%の増収、営業利益は10億36百万円と前年同期比68.0%の増益となりました。

③ 欧州

欧州におきましては、欧州債務危機の更なる長期化による域内経済の減速が鮮明になる中、一部ドイツ高級車の域外輸出こそ好調を保っているものの、欧州域内の自動車生産が減少しました。一方、利益につきましては、減収による減益、製品ミックスでの悪化、ユーロ安、研究開発費増加等により減益となりました。その結果、売上高は537億65百万円と前年同期比9.0%の減収、営業利益は1億77百万円の損失（前年同期は30億82百万円の利益）となりました。

④ アジア

アジアにおきましては、タイの洪水被害の影響から回復した日系自動車会社は大幅な増産となりました。また、中国市場では欧米系及び日系の自動車会社中心に増産傾向が継続し、自動車生産台数は堅調に推移しました。その結果、売上高は438億80百万円と前年同期比21.8%の増収、営業利益は33億45百万円と前年同期比97.4%の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、3,219億95百万円と、前期末に比して77億23百万円の減少となりました。これは主に、前期末比で円高が進展したことによる外貨建資産の為替換算額の減少によるものであります。負債につきましては、同期間末で1,689億99百万円と、前期末に比して4億67百万円の増加となりました。

純資産につきましては、46億38百万円の四半期純利益を計上したものの、円高の進展による為替換算調整勘定の減少により、全体として前期末比81億91百万円減少の1,529億95百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

下半期における当社を取り巻く事業環境は、欧州における債務危機の長期化、および中国における日系自動車会社の減産の影響により厳しい状況になることが予想されます。このため平成25年3月期連結業績予想を修正しております。尚、第3四半期以降の為替レートは1米ドル=78円、1ユーロ=100円を前提としております。

当企業グループとしましては、今後とも更なる原価低減、固定費削減を推進するなど合理化策を進め、収益改善に努めてまいり所存です。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	69,600	77,987
受取手形及び売掛金	75,454	68,656
有価証券	4,546	3,842
たな卸資産	47,152	47,220
その他	26,245	22,909
貸倒引当金	△1,004	△793
流動資産合計	221,995	219,823
固定資産		
有形固定資産	75,323	71,906
無形固定資産	4,594	4,989
投資その他の資産	27,805	25,276
固定資産合計	107,723	102,172
資産合計	329,718	321,995
負債の部		
流動負債		
買掛金	28,817	24,938
短期借入金	15,517	18,900
コマーシャル・ペーパー	2,000	2,000
1年内返済予定の長期借入金	15,045	16,559
未払法人税等	1,905	2,933
繰延税金負債	9	118
製品保証引当金	14,607	13,981
その他	27,161	26,337
流動負債合計	105,064	105,768
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	23,687	23,833
退職給付引当金	8,080	7,684
役員退職慰労引当金	501	482
その他	11,198	11,230
固定負債合計	63,468	63,231
負債合計	168,532	168,999

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	41,862	41,862
資本剰余金	42,328	42,328
利益剰余金	113,280	116,671
自己株式	△0	△0
株主資本合計	197,470	200,861
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,632	3,050
繰延ヘッジ損益	△82	18
為替換算調整勘定	△41,625	△51,917
在外子会社の年金債務調整額	△326	△291
その他の包括利益累計額合計	△37,401	△49,140
少数株主持分	1,117	1,274
純資産合計	161,186	152,995
負債純資産合計	329,718	321,995

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	181,753	199,890
売上原価	150,518	164,638
売上総利益	31,235	35,252
販売費及び一般管理費	24,635	26,691
営業利益	6,600	8,561
営業外収益		
受取利息	553	314
受取配当金	104	119
投資有価証券売却益	—	317
その他	320	475
営業外収益合計	979	1,227
営業外費用		
支払利息	577	505
為替差損	675	770
その他	750	372
営業外費用合計	2,004	1,648
経常利益	5,574	8,140
税金等調整前四半期純利益	5,574	8,140
法人税等	2,615	3,437
少数株主損益調整前四半期純利益	2,959	4,703
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△109	64
四半期純利益	3,068	4,638

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,959	4,703
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,401	△1,581
繰延ヘッジ損益	77	100
為替換算調整勘定	△13,827	△10,375
在外子会社の年金債務調整額	41	34
その他の包括利益合計	△15,108	△11,821
四半期包括利益	△12,149	△7,118
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,931	△7,100
少数株主に係る四半期包括利益	△217	△18

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,574	8,140
減価償却費	6,586	6,662
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△317
固定資産除売却損益(△は益)	24	16
受取利息及び受取配当金	△658	△434
支払利息	577	505
売上債権の増減額(△は増加)	△4,401	2,494
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,621	△3,203
仕入債務の増減額(△は減少)	△202	△2,559
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,605	87
その他の流動負債の増減額(△は減少)	1,215	720
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△141	117
その他	△1,882	484
小計	2,464	12,715
利息及び配当金の受取額	658	434
利息の支払額	△588	△550
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△4,156	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,622	12,601
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,806	△7,399
有形固定資産の売却による収入	87	191
無形固定資産の取得による支出	△236	△311
その他	△2,973	1,474
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,928	△6,043
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,461	4,130
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	△3,000	—
長期借入れによる収入	2,000	13,016
長期借入金の返済による支出	△9,107	△10,431
配当金の支払額	△1,247	△1,247
その他	△20	174
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,913	5,642
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,249	△2,726
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△26,714	9,474
現金及び現金同等物の期首残高	92,866	67,263
現金及び現金同等物の四半期末残高	66,152	76,737

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	調整額 (百万円) (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円) (注) 2
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	30,507	65,885	55,993	29,367	181,753	—	181,753
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,693	6,169	3,097	6,669	30,629	(30,629)	—
計	45,200	72,055	59,090	36,036	212,383	(30,629)	181,753
セグメント利益	1,092	616	3,082	1,694	6,487	113	6,600

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額113百万円には、セグメント間取引消去149百万円、及びのれん償却△36百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 各報告セグメントに属する主な国は、下記のとおりであります。

米州・・・米国、ブラジル、メキシコ

欧州・・・ドイツ、オランダ、ルーマニア、ポーランド、チェコ

アジア・・・中国、フィリピン、タイ、韓国、インド

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	調整額 (百万円) (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円) (注) 2
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	34,963	78,428	50,721	35,777	199,890	—	199,890
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,782	6,544	3,043	8,102	35,474	(35,474)	—
計	52,746	84,973	53,765	43,880	235,365	(35,474)	199,890
セグメント利益又は セグメント損失(△)	4,281	1,036	△177	3,345	8,486	75	8,561

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額75百万円には、セグメント間取引消去111百万円、及びのれん償却△36百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 各報告セグメントに属する主な国は、下記のとおりであります。

米州・・・米国、ブラジル、メキシコ

欧州・・・ドイツ、オランダ、ルーマニア、ポーランド、チェコ

アジア・・・中国、フィリピン、タイ、韓国、インド

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。